

平成 28 年度  
北アルプス日本海広域観光連携会議

通常総会資料



日 時 平成 28 年 5 月 11 日

会 場 ヒ ス イ 王 国 館

---

## 目 次

---

第 1 号議案	平成 2 7 年度事業報告について . . . . .	1 ページ
第 2 号議案	平成 2 7 年度収入支出決算について . . . . .	9 ページ
第 3 号議案	平成 2 8 年度事業計画 (案) について . . . . .	11 ページ
第 4 号議案	平成 2 8 年度収入支出予算 (案) について . . . . .	24 ページ
参考資料	構成団体名簿	
	役員名簿	
	幹事会・専門委員会名簿	
	連携会議規約	
	連携会議行動計画	

## 平成27年度 事業報告について

平成27年4月～28年3月

### 会議の開催

#### 広域観光連携専門委員会

具体的な事業計画や実施を担う委員会として3回開催した。

- ・ 第1回 広域観光連携専門委員会（平成27年4月17日開催）
- ・ 第2回 広域観光連携専門委員会（平成27年11月6日開催）
- ・ 第3回 広域観光連携専門委員会（平成27年12月21日開催）

#### 幹事会

連携会議の円滑な運営を補助することを目的に2回開催した。

- ・ 第1回 幹事会（平成27年4月27日開催）
- ・ 第2回 幹事会（平成28年1月19日開催）

### 平成27年度の取組

#### (1) 周遊型広域旅行商品の販売促進

752,268円

- ・ 当エリアを巡るモニターツアーを行うことで認知度向上と誘客拡大を図った。

#### 日本旅行「ジバング倶楽部」

『つつじ、さつき、藤、花めぐり庭めぐり』

内 容：藤まつり、月華山かねこつつじ園

（以上、糸魚川市） 護国寺（朝日町）

出発日：5月10日 乗車人数：13名



#### びゅうトラベルサービス「大人の休日倶楽部」

『夏の北アルプスと日本海 秘境の歴史と文化にふれる2日間』

内 容：高田公園、岩の原葡萄園（以上、上越市）

フォッサマグナミュージアム（糸魚川市）

百河豚美術館（朝日町）

姫川源流自然探勝園（白馬村）

大町山岳博物館（大町市）

出発日：7月30日 乗車人数：22名



びゅうトラベルサービス（ネット販売限定）

『北アルプスの絶景と紅葉の「翡翠園」・「谷村美術館」糸魚川名所めぐり』

内 容：大町山岳博物館（大町市） 姫川源流自然探勝園（白馬村） 千国の庄資料館（小谷村）～糸魚川定期観光バス乗車～相馬御風宅、加賀の井酒造、大王あじさい園（以上、糸魚川市）

出発日：11月20日 乗車人数：11名

(株)阪急交通社

『北陸新幹線で一直線！誰も知らない!?糸魚川駅を訪ねる3日間』

内 容：フォッサマグナミュージアム、街歩き、  
加賀の井酒造、糸魚川温泉・笹倉温泉  
（以上、糸魚川市）

出発日：1月24日～4月19日の間のうち  
8回運行

乗車人数：31名



(2) 認知度調査および開業効果測定事業

900,756円

- ・ 北陸新幹線開業後において、当地域と北陸新幹線の認知度調査を行うことで、今後の戦略を立てるうえでの効果検証資料の取得を行う。

【調査日】 平成27年9月30日

【調査方法】 ネットリサーチ

【ターゲット】（年代）20代～60代の男女

（居住地域）一都三県（東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県）

関西圏（大阪府、京都府）

沿線都市（群馬県、長野県）

北陸三県（富山県、石川県、福井県）

【対象者数】 1,200人

【調査項目】 15項目

- ・ エリアの認知度、興味度および経験度
- ・ 北陸新幹線の開業認知度
- ・ 北陸新幹線の利用意向と利用する理由
- ・ 開業によるイメージと今後の来訪意欲度 など

(3) 出身タレントの活用

600,756円

- ・ 糸魚川市出身のよしもと芸人横澤夏子さんと各県の住みます芸人を活用し、観光地を紹介するYoutube動画を作成。
- ・ 撮影日、撮影場所は以下のとおり。

上越市・朝日町・糸魚川市 撮影日：6月3日（水）

撮影箇所：上越市...春日山城跡  
 朝日町...ヒスイ海岸  
 糸魚川市...糸魚川駅ジオステーションジオパル  
 小谷村・白馬村・大町市 撮影日：7月21日(火)  
 撮影場所：小谷村...梅池自然園  
 白馬村...白馬大雪渓  
 大町市...黒部ダム

(4) 出店支援事業 65,556 円

- ・ 糸魚川駅前を会場に開催された『国際ご当地グルメグランプリ 2015 in 糸魚川』(10/3～4)に、上越市の農家民宿どぶろく荘が出展。連携会議で出展料を負担することで物産販売を支援した。



(5) 二次交通整備拡充事業 749,576 円

駅レンタカー利用者の乗捨て料金の補助

- ・ 糸魚川営業所を起点とする乗捨て料金 4,320 円エリアの乗捨て利用について、乗捨て料金の全額を補助することで観光流動を創出することを目的に実施。

期間：平成 27 年 10 月 1 日～12 月 27 日

対象営業所

J R 東日本エリア 上越妙高、飯山、長野、信濃大町、松本

J R 西日本エリア 黒部宇奈月温泉、富山、新高岡



運行実績 10 件

内訳：信濃大町 糸魚川 1 件、松本 糸魚川 2 件

糸魚川 上越妙高 4 件、糸魚川 松本 2 件、糸魚川 富山 1 件

特急バスの延伸の検討（ 冬季インバウンド対応事業へ）

- ・ 冬季、白馬バレーに滞在する外国人観光客の食事難民解消策として、白馬 - 糸魚川間をシャトルバスで繋ぎ、エリア内の観光流動の創出を図る。

#### 【事業概要】

運行スケジュール（期間中の毎週水・木曜日 全 12 回運行）

平成 28 年 1 月 6 日（水）～2 月 11 日（木・祝）

運行時間

白馬東急ホテル（16：30）＝＝＝八方バスセンター（16：40）＝＝＝糸魚川駅（17：50～21：00）＝＝＝八方バスセンター（22：00）＝＝＝白馬東急ホテル（22：10）

車両

マイクロバスタイプ（27 人乗り）

利用料金

片道 500 円（往復 1,000 円）

広報宣伝

チラシの作成・配布、ホームページ掲載

エッセンシャルガイド掲出

運行実績

利用者 100 名（内、外国人客 56 名）



#### （ 6 ）二次交通ビジョンの策定

11,670 円

「北陸新幹線糸魚川駅利用促進に向けた戦略会議」を設置し、北陸新幹線糸魚川駅の利用促進策を練るとともに、二次交通の環境整備に向けた検討と周遊ルートの制度設計を目指す。

構成団体 西日本旅客鉄道株式会社金沢支社

新潟県

長野県

北アルプス日本海広域観光連携会議構成市町村

（糸魚川市、上越市、大町市、白馬村、小谷村、朝日町）

会議経過 12 月 24 日 第 1 回戦略会議 開催

第 1 回目の会議の意見を踏まえ、観光施設への誘導強化に特化し、現状の観光施設へのアクセス方法（二次交通）について全体の状況をまとめ、二次交通のニーズ調査を行う中で、新しい二次交通（新ルート、補完的役割、周遊化）の検討・実施に向けて、次年度以降も継続して取り組むこととする。

(7) 住民見学会の開催

478,756 円

連携会議市町村内に居住する住民を対象に、新幹線駅舎見学と糸魚川市内の観光ツアーを開催し市民意識の醸成を図る。

ツアー名 北陸新幹線糸魚川駅と荒波あんこう祭り見学ツアー

日程 平成 28 年 1 月 24 日(日)

参加費 3,000 円

行程 発地により違いあり。

各地から乗車 === 糸魚川駅・ジオパル見学 === あんこう祭り見学 === 昼食(マリンドリーム能生 or ヒスイ王国館) === 玉翠園・谷村美術館 === フォッサマグナミュージアム === 帰路

参加者 49 名

大町方面 29 名、白馬・小谷方面 12 名、上越方面 8 名、朝日方面(不催行)



(8) 訪日ムスリム外国人旅行者の受入環境整備等促進事業

0 円

白馬五竜周辺で行われているムスリム外国人旅行者受入の取組みをエリア内に広げ、インバウンド受入のための知識の習得と受入環境整備を図る。

ムスリムセミナーの開催

日程 2 月 22 日(月) ~ 24 日(水)

内容 第一部「イスラム教について」

講師：日本アセアンセンター観光交流部部長代理 神田瑞穂 様

第二部「ムスリム客の受入について」

講師：白馬五竜観光協会事務局長 佐藤文生 様

ムスリム対応料理セミナーの開催

日程 3 月 22 日(火) ~ 24 日(木)

内容 地域の食材でマレーシア料理を作り、試食を通じて楽しみながら食文化の違いを学ぶ。

キブラシールの作成

作成部数：1 万枚(サイズ 145mm x 45mm)

エリア内の宿泊施設等に配布する。(申込制)

ムスリム専用ホームページの作成

作成言語：英語(一部、日本語併記)

市町村ごとにムスリム対応施設一覧をデータとして掲載。

(9) 二次交通整備拡充事業(鉄道見所マップの作成)

0円

大手鉄道雑誌への記事掲載で認知度の向上を図った後、掲載記事を基に将来的に総集編冊子を作成する。(H28 大系線非電化区間掲載、H29 大系線電化区間...)

また、雑誌掲載にあわせオリジナルノベルティグッズを配布し、直接的かつシンプルに乗車を動機付けることで来訪を促す。

『鉄道ジャーナル(月刊)』への記事掲載

鉄道に関心がある人を直接ターゲットにすることで、乗り鉄、撮り鉄などの乗車にも繋げる。

- ・掲載内容：大系線の写真(車窓、駅舎、車両や歴史が感じられる写真等)、駅員のインタビュー、大系線沿線(非電化区間(糸魚川～南小谷))の観光情報など。

- ・発行日：H28年6月21日(火)(取材日：5月16日～18日)

ノベルティグッズの作成

子供～大人まで惹きつけられるような鉄道グッズを作成し、期間限定のプレゼントキャンペーンを実施する。

- ・個数：1,000個
- ・内容：キハ52のギミック+駅名プレート(糸魚川～南小谷)
- ・納品：H28年5月末(現在製作中)
- ・キャンペーン(案)

「大系線に乗ろう！懐かしのキハ限定ストラッププレゼントキャンペーン(仮)」

期間：平成28年7月16日(土)～10月30日(金)

内容：糸魚川駅及び南小谷駅に専用スタンプ、専用台紙を設置。押印後の台紙と乗車券の提示でグッズと交換できる。



(10) 開業記念イベントの参加

90,052円

北陸新幹線糸魚川駅開業1周年記念イベントに北アルプス日本海広域観光連携会議から出展。観光PRや特産品販売等で賑わいを作った。目標であった1万人の来場者から糸魚川を楽しんでいただいた。



(11) 広域観光マップの作成

2,376,756 円

高速道路 S A に設置される広域ロードマップを作成、配布することでエリアへの誘客を促進する。片面に高速道路広域マップ、片面にエリアの詳細地図や見所、イベント、特産品等を紹介。



仕様 B 2 版 12 折 フルカラー  
部数 60,000 部  
納品 平成 28 年 3 月 25 日

配布箇所 (高速道路)

地域	設置箇所	都道府県	部数	
北陸	北陸自動車道	有磯海 S A (下)	9,000 部	
		尼御前 S A (上)		
		米山 S A (上)		
関東	東名高速道路	海老名 S A (下)	神奈川県	15,000 部
中部	中央自動車道	諏訪湖 S A (下)	長野県	12,000 部
		駒ヶ岳 S A (下)		
		双葉 S A (下)		
	新東名高速道路	岡崎 S A	愛知県	15,000 部

配布箇所 (道の駅)

地域	設置箇所	都道府県	部数
北陸	越後市振の関	新潟県	4,000 部
	親不知ピアパーク	新潟県	
	マリンドリーム能生	新潟県	
	うみてらす名立	新潟県	
中部	小谷	長野県	
	白馬	長野県	

上記のほか、各県東京観光情報センター・大阪観光情報センター・名古屋観光情報センターに設置。各市町村には 500 部ずつ配布。

(12) その他

188,676 円

布地スクリーンの制作

- ・ 連携会議の P R のための共通デザインのスクリーンを制作した。



### あいのトキめき事業

- ・ 観光交流事業として、朝日町と糸魚川市が連携し、“おとなの遠足 in 朝日町”を開催。
- ・ 鉄道を利用して会場（あいの風とやま鉄道泊駅）に集合させることで、えちごトキめき鉄道の利用促進を図った。

#### 【実施内容】

開催日時

平成 27 年 10 月 24 日（土）

内容

海岸散策・街めぐりなど、  
アクティビティを含むパーティーの開催。

参加対象者

糸魚川市、新川広域圏に居住する 20～49 歳までの  
独身男女

参加実績：男性 28 名 女性 26 名



### 視察研修受入

- ・ 福井県丹南広域組合議会議員の視察研修訪問を受け、当連携会議の組織・取組について説明した。

福井県丹南広域組合

鯖江市、越前町、池田町、南越前町、越前町の 5 市町で構成。平成 34 年度の北陸新幹線敦賀延伸により南越駅（仮称）の開業を控える。

開催日時

平成 27 年 11 月 12 日（木）

内容

広域観光推進の取組について

訪問者

福井県丹南広域組合議会議員 17 名  
事務局 2 名



## 平成27年度 収入支出決算

## 【収入の部】

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	比較増減	説 明
	8,089,000	8,089,000	0	
1.負担金	5,000,000	5,000,000	0	糸魚川市
	630,000	630,000	0	上越市
	890,000	890,000	0	大町市
	275,000	275,000	0	白馬村
	94,000	94,000	0	小谷村
	400,000	400,000	0	朝日町
	800,000	800,000	0	新潟県
2.補助金	0	0	0	
3.雑収入	1,430,974	283,127	-1,147,847	総会交流会費、住民見学会参加費、預金利息
4.繰越金	1,733,026	1,733,026	0	
計	11,253,000	10,105,153	-1,147,847	

## 【支出の部】

科 目	予算額	決算額	比較増減	説 明
1.事業費	10,103,000	6,414,822	-3,688,178	
広告宣伝	2,377,000	2,376,756	-244	広域マップ制作
誘客宣伝	2,983,000	2,442,456	-540,544	認知度調査、モニターツアーほか
イベント関連	943,000	634,364	-308,636	住民見学会ほか
二次交通	3,500,000	761,246	-2,738,754	駅レンタカー乗捨バス、シーフードシャトルバスほか
ホームページ運営費	300,000	200,000	-100,000	ホームページ運営管理
2.連携会議運営費	1,150,000	628,976	-521,024	
会議費	300,000	176,376	-123,624	総会会議費
事務委託費	800,000	450,000	-350,000	糸魚川市観光協会委託
事務通信費	50,000	2,600	-47,400	収入印紙購入
計	11,253,000	7,043,798	-4,209,202	

収入10,105,153円 - 支出7,043,798円 = 差引3,061,355円 は次年度に繰り越す

# 監査報告書

平成 27 年度収入支出決算について、関係書類及び諸帳簿を監査した結果、適正かつ正確に処理されていることを確認しました。

平成 28 年 4 月 21 日

監事

大町商工会議所 会頭

坂中正男 

平成 28 年 4 月 25 日

監事

新潟県糸魚川地域振興局 局長

渡辺広治 

## 平成28年度 事業計画（案）について

### 事業概要

広域観光連携のメリットを生かしたこれまでの取り組みを継続させるとともに、開業効果を生かした事業を実施、加速させていく。

### 事業計画

#### 1 会議の開催について

##### 広域観光連携専門委員会

具体的な事業計画や実施を担う機関として、事業計画を推進する。

##### 北陸新幹線糸魚川駅利用促進戦略会議

糸魚川駅から周辺市町村への誘導方法を検討しアクセス強化を図ることで広域的な誘客と糸魚川駅の利用促進に繋げる。

##### 幹事会

重要事項の審議のほか、連携会議の円滑な運営を補助することを目的に開催する。

#### 2 平成28年度事業について

##### (1) 広域観光PR

##### 誘客宣伝事業

広域旅行商品の販売促進（継続） 1,200,000円

- 各市町村の創意工夫により、エリアの認知度向上を図るための広域旅行商品を企画造成し誘客拡大を図る。

ビジット・ジャパン地方連携事業（新規） 4,300,000円

- 海外旅行会社等にツアー造成してもらうことを主眼に、外国人誘客の取組みを国と共同実施することで広域連携を促すと同時にエリアの多彩な魅力を発信する。

AGTモニターツアーの実施（新規） 1,100,000円

- 北陸新幹線の開業に伴い、関西圏からの誘客増をねらいに旅行商品を企画する旅行エージェントによるモニターツアーを実施し誘客の促進を図る。

観光キャンペーンの実施（継続） 570,000円

- 誘客の促進、また連携会議の連帯意識の向上を図るため、集客力ある大規模商業施設において合同による観光キャンペーンを実施し認知度の向上と誘客促進を図る。

## HP管理

ホームページの運営管理（継続）	200,000円
-----------------	----------

魅力あるコンテンツを発信することで、誘客宣伝と認知度の向上を図る。

## (2) 二次交通

### 二次交通

駅レンタカー乗捨無料事業（継続）	906,000円
------------------	----------

- ・ 駅レンタカー利用者の乗捨料金を補助することでエリア内の周遊を促す。

冬季シャトルバス運行事業（継続）	500,000円
------------------	----------

- ・ 冬季、白馬バレーに滞在する外国人旅行者に二次交通手段を提供することで、観光流動を創出するとともに新たな観光ルートの構築に繋げる。

鉄道魅力発信事業（継続）	1,507,000円
--------------	------------

- ・ 鉄道専門誌への記事掲載やオリジナルグッズがあたるキャンペーンを実施することで、在来線の魅力をアピールし来訪意欲を創出する。

北陸新幹線系魚川駅利用促進戦略会議（継続）	1,000,000円
-----------------------	------------

- ・ 専門委員会として「北陸新幹線系魚川駅利用促進戦略会議」を設置し、系魚川駅から周辺市町村への広域的誘客を図るため、旅行商品の造成や観光地への誘導方法の検討により、北陸新幹線系魚川駅の利用促進を図る。

# 詳細

## 平成 28 年度 事業計画（案）

## 誘客宣伝

### 広域旅行商品の販売促進（継続）

#### 1 趣旨

広域旅行商品の造成及び販売を通じて当エリアへの誘客拡大を図る。

#### 2 事業計画（案）

- (1) 北陸新幹線糸魚川駅を利用した広域旅行商品の企画造成と販売に係る費用を負担する。
- (2) 主に連携会議構成団体が自ら企画又は売込を行うツアー商品の協賛金を想定。
- (3) 2市町村以上を跨るコース設定により周遊を促す。

#### 【企画例(実際に販売されたもの)】

##### 『北アルプスと日本海 豊かな文化・芸術と冬の味覚満喫の旅』

販売:びゅうトラベルサービス「大人の休日倶楽部」

期日:平成27年2月19日

内容:

大町山岳博物館(大町市)→ラ・ネージュ東館、菊池哲夫 山岳フォトアートギャラリー(以上、白馬村)→道の駅小谷(小谷村)→玉翠園・谷村美術館、道の駅マリンドリーム能生(以上、糸魚川市)→越後高田街歩き(上越市)

企画:糸魚川市

#### 3 目標

認知度向上

誘客拡大

#### 4 スケジュール

2016年（平成28年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	商品開発・売込											

#### 5 事業費（概算）

1,200,000 円

<内訳>

・200,000円×6件=1,200,000円（主にツアー実施協賛金として）

## ビジット・ジャパン地方連携事業（新規）

### 1 趣旨

増加するインバウンド客に対応するべく、現在延べ宿泊者数の多い台湾（新潟県2位・長野県1位・富山県1位）をターゲットに当エリアの共通観光資源である自転車を活用した誘客施策に取り組む。 ※北陸信越運輸局連携事業

### 2 事業計画（案）

- (1) 6市町村の情報を一元化したプロモーション用パンフ（日・英・繁体）製作（6,000部）
- (2) 訪日ユーザー用サイクルロードマップ（日・英・繁体）製作。（20,000部）
- (3) 3泊4日でメディア招請（5社5名を想定）を行い、観光ルートを紹介。

#### 【行程案】 ※平成28年9月～10月を想定

- 1日目： 台湾桃園国際空港⇒富山きときと空港⇒富山駅⇒（北陸新幹線）⇒糸魚川駅⇒大町仁科三湖・黒部ダム⇒白馬村（泊）
- 2日目： 白馬村サイクリングコース・小谷村ヒルクライムコース⇒高田城・上越水族博物館⇒上越（泊）
- 3日目： 久比岐自転車道⇒かにや横丁⇒なないろKAN・ひすい海岸⇒糸魚川（泊）
- 4日目： 糸魚川駅⇒（北陸新幹線）⇒富山駅⇒富山きときと空港⇒台湾桃園国際空港

#### 【招請案】

##### 一般雑誌社

- 時時週刊・・・発行部数約6万部。購読者層25～29歳。国内外の芸能、グルメ、旅行、ファッション等を幅広く取り上げる週刊誌。
- 壹週刊・・・発行部数約12万部。国内外の芸能、グルメ、旅行、ファッション等を幅広く取り上げる最も購読率が高い雑誌。
- 康健・・・発行部数約9万部。健康、ライフスタイルをテーマにした生活情報誌。購読者層は家族を持つ30代。

##### 旅行雑誌社

- MOOK TRAVELER・・・発行部数約8万部。毎月発行の旅行専門誌。海外及び国内旅行を紹介。
- 行遍天下・・・台湾版と国際版を一冊にまとめて発行。現在、旅行関連シリーズは既に500種類以上を発行。

- (4) 現地プロモーションを実施し旅行社を直接訪問し売込を行う。（平成28年11月・29年3月）
- (5) 現地誌Taipei Walkerへの出稿。（平成29年1月）

### 3 目標

エリアの認知度向上  
新たな観光ルートの構築

## 4 スケジュール

2016年（平成28年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
パンフ、マップの製作		○										
メディア招請						○	○					
旅行会社等セールスコール								○				○
Taipei Walker出稿										○		

## 5 事業費（概算）

4,300,000 円 （国の負担決定額4,260,000円）

内 訳 （ 単 位 ： 千 円）	メディア招請	国負担額	北ア負担額	総事業費
	国：航空券、現地移動費、宿泊費、食費等	1,220	0	1,220
	純広告	国負担額	北ア負担額	総事業費
	国：広告料	480	0	480
	セールスコール	国負担額	北ア負担額	総事業費
	国：台湾国内移動費、通訳等 地方：渡航費用、宿泊費等	300	870	1,170
	パンフ・マップ	国負担額	北ア負担額	総事業費
	国：プロモーション用パンフ 地方：着地型ガイドマップ	2,260	3,430	5,690
	計	4,260	4,300	8,560

**誘客宣伝**

**エージェントモニターツアーの実施（新規）**

**1 趣旨**

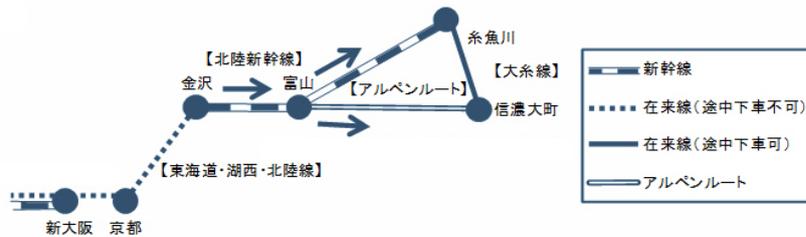
北陸新幹線の開業に伴い関西圏からの誘客促進のため、旅行商品を企画する旅行エージェントへのモニターツアーを実施し観光客の増加を目指す。

**2 事業計画（案）**

●事業の必要性

年間100万人近くが訪れる立山黒部アルペンルートの来訪者は、大町から長野や岐阜へ行くルートが一般的である。その流れをJR西日本と連携しながら、金沢・富山～立山黒部アルペンルート～大町・白馬・糸魚川とする観光ルートの開発を行い関西圏からの誘客を目指す。  
 ※立山黒部アルペンルートの入込客（平成27年）・・・99万7千人（富山側から51万7千人、長野側から48万人）

【コースイメージ】



●事業内容

関西の旅行エージェント10～20社程度を招へいし、エリアの観光素材を紹介する中で立山黒部アルペンルートを含む広域ツアーの造成を目指す。

**3 目標**

認知度の向上、誘客拡大

**4 スケジュール**

2016年（平成28年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
			企画・募集									
							モニターツアー実施					
								検証・次年度以降の商品造成				

**5 事業費（概算）**

1,100,000 円

## 誘客宣伝

### 観光キャンペーンの実施（継続）

#### 1 趣旨

北陸新幹線の開業によりこれまで以上に関東圏からの誘客を促進するため、集客力のある大規模商業施設において情報発信することで認知度の向上と誘客の促進を図る。

#### 2 事業計画（案）

##### 【開催概要】

- |      |   |
|------|---|
| 1 日時 | 平成28年夏～晩秋の間 土・日2日間<br>※平成28年10月上旬で調整中   |
| 2 会場 | イオンレイクタウンkazeモール(埼玉県越谷市レイクタウン3-1-1)<br>電話048-930-7000<br>※入込参考……平日5万～7万人、土日祝日8万～13万人  |
| 3 内容 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光大使、越後上越おもてなし武将隊による観光PR</li> <li>・観光ポスター掲出、観光パンフレットの配布</li> <li>・特産品が当たるアンケート抽選会</li> <li>・ゆるキャラ撮影会</li> <li>・その他来場が見込まれるイベント(ヒスイ探し体験等)</li> </ul> |

#### 3 目標

魅力情報の発信

認知度向上と来訪意欲の創出

#### 4 スケジュール

2016年（平成28年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
				企画								
							実施					

#### 5 事業費（概算）

570,000 円

<内訳>

- ・出展料 216,000円×2日間=432,000円
- ・会場警備費、備品レンタル料 68,000円
- ・観光大使旅費等 70,000円

<b>HP管理</b>
-------------

## ホームページ運営管理（継続）

### 1 趣旨

魅力あるコンテンツを発信することで連携会議のPRを図る。

### 2 事業計画（案）

- (1) 連携会議の取組みを伝えるほか、イベント開催に合わせた情報更新を行うことで認知度の向上と来訪意欲の創出を図る。
- (2) 広域観光連携を生かした旅行プランを紹介するなど、魅力発信の受け皿とする。
- (3) 各市町村間、観光団体間とのリンクにより露出度の向上を図る。

### 3 目標

認知度向上

連携会議の魅力情報の発信

### 4 スケジュール

2016年（平成28年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	運営、管理											

### 5 事業費（概算）

200,000 円

<内訳>

- ・管理料（年間） 50,000円
- ・情報更新料 3,000円/1h × 45時間 = 135,000円
- ・その他関連作業 15,000円/年

**二次交通**

**駅レンタカー乗捨無料事業（継続）**

1 趣旨

駅レンタカー利用者の乗捨料金を補助することで、エリア内の周遊を促す。

2 事業計画（案）

(1) レンタカー利用者の乗捨料金の補助

- ・糸魚川営業所を起点とする4,320円区間の乗捨利用に対し、糸魚川営業所を発地又は着地とすることを条件に乗捨料金の全額を補助する。

※H27年度実績

実施期間 平成27年10月1日～12月27日

利用実績 10件 信濃大町→糸魚川 1件、松本→糸魚川 2件

糸魚川→上越妙高 4件、糸魚川→松本 2件、糸魚川→富山 1件

(2) 利用率向上の取組み

- ・JR西日本の協力を得て、大手旅行社や駅レンタカー会社へ情報提供、情報掲載依頼を行い、認知度と利用率の向上を図る。
- ・旅行社の上期商品に合わせ実施期間を4月～9月とし、状況に応じて下期（10月～12月）の販売も検討する。
- ・利用者に抽選で地域の特産品をプレゼント。期間終了後に一括抽選を行う。

【イメージ図】



【PRチラシ】



3 目標

観光流動の創出 糸魚川駅の利用促進

4 スケジュール

2016年（平成28年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
上期商品の販売（4月～9月）	→											
下期販売の検討			→									

5 事業費（概算）

906,000 円

<内訳> 乗捨料金補助 4,320円×200件=864,000円

抽選商品購入費 42,000円（5,000円相当×6個、1,000円相当×12個）

**二次交通**

**冬季シャトルバス運行事業（継続）**

**1 趣旨**

冬季、白馬バレーに滞在する主に外国人観光客をターゲットに、夕食を目的とした交通手段の提供と受入態勢を整えることでエリア内の観光流動を創出する。

**2 事業計画（案）**

- (1) H27年度の「シーフードシャトルバス」の継続実施。今年度の反省を踏まえ内容の磨き上げを行う。実施については、グローバル観光委員会（糸魚川青年会議所内）及び三愛旅行社（糸魚川市）。

**●行程**  
 白馬東急ホテル(16:30) === 八方バスセンター(16:35~16:45) === 糸魚川駅(17:50~21:00) === 八方バスセンター(22:00) === 白馬東急ホテル(22:10)  
 ※マイクロバス27人乗り（基本） 糸魚川での滞在は約3時間



**※平成27年度利用実績**

100名(日本人客44名・外国人客56名)

**【見直し項目】**

- ・運営方法の確認
- ・シャトルバスの運行経路、運行時間
- ・利用料金
- ・運行上のトラブルの対応
- ・車内での過ごし方
- ・糸魚川市内での滞在時間と内容
- ・参加店舗及び提供メニュー

- (2) エssenシャルガイド掲載

**3 目標**

新たな観光ルートの構築  
 交流人口の拡大

**4 スケジュール**

2016年（平成28年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
							企画					
										運行		

**5 事業費（概算）**

500,000 円

**二次交通**

**鉄道魅力発信事業（継続）**

**1 趣旨**

在来線の魅力をアピールすることで来訪意欲を創出する。

**2 事業計画（案）**

(1) 鉄道誌への掲載

- ・メジャーな鉄道専門誌に記事掲載しターゲットを絞って訴求する。
- ・実際に訪れないと分からない情報を盛り込むことで来訪を促す。

掲載誌 『鉄道ジャーナル』8月号(平成28年6月21日発売)



- 月刊(21日発売) ●発行部数 130,000部
- B5判変形(天地257mm、左右189mm)左無線綴
- ページ数 通常号 170ページ
- 構成 全誌面の約90パーセントがカラー誌面。
- 定価 通常 1,000円(税込)

＜媒体の特徴＞

読者の多くは毎号購入していただける固定読者で、鉄道ファンや旅行好きの方のほか、鉄道関連企業や交通関係の専門職の方から支持。 趣味誌・専門誌として読者の年齢層は30～40歳をピークに小学生から中高年まで幅広い。

- ・将来的に取材記事を引用した見所マップの作成に展開させる。

(2) 鉄道限定グッズの作成・キャンペーンの実施

- ・マニアだけに限らず、一般家族連れにも分かりやすく直接的かつシンプルに乗車を動機付ける鉄道グッズ(キハ限定ストラップ)をプレゼントする。

限定ストラップ



●実施概要

「大系線に乗ろう！懐かしのキハ限定ストラッププレゼントキャンペーン(仮)」

- ①期間:平成28年7月16日(土)～10月30日(金)
- ②内容:糸魚川駅及び南小谷駅に専用スタンプ、専用台紙を設置。押印後の台紙と乗車券の提示でグッズと交換できる。

**3 目標**

来訪意欲の創出

**4 スケジュール**

2016年(平成28年度)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
			27年度取材記事掲載							29年度記事打合せ		
										29年度ストラップ製作		

**5 事業費（概算）**

1,507,000 円

＜内訳＞

- ・掲載費・編集費・取材費 540,000円
- ・フィギュアストラップ製作 857,000円
- ・ロイヤリティ 10,000円
- ・台紙作成費 100,000円

## 二次交通

### 北陸新幹線系魚川駅利用促進戦略会議（継続）

#### 1 趣旨

糸魚川駅から周辺市町村への広域的誘客を図るため、旅行商品の造成や観光地への誘導方法の検討により、北陸新幹線系魚川駅の利用促進を図る。

#### 2 事業計画（案）

平成27年12月の第1回戦略会議での内容を踏まえ、専門委員会として「北陸新幹線系魚川駅利用促進戦略会議」を位置づける。

##### (1) 組織

- ・西日本旅客鉄道株式会社金沢支社
- ・新潟県
- ・長野県
- ・北アルプス日本海広域観光連携会議構成市町村  
(糸魚川市、上越市、大町市、白馬村、小谷村、朝日町)

##### (2) 取組内容

- ・一番の課題である「新幹線駅・在来線駅から観光地への誘導方法」を検討し、広域的なバス・タクシー等の試験運行をするなかでアクセス強化と効果測定を行う。
- ・新幹線駅・在来線駅から観光地へ誘導するための試験運行を旅行会社へ情報提供し、商品造成しやすい環境を提供する。

#### 3 目標

旅行商品を造成しやすいアクセス環境の整備

#### 4 スケジュール

2016年（平成28年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		戦略会議										
						バスの試験運行						

#### 5 事業費（概算）

1,000,000 円

## 平成28年度 収入支出予算(案)

## 【収入の部】

(単位：円)

科 目	H28予算額	H27予算額	比較増減	説 明
	7,689,000	8,089,000	-400,000	
1. 負担金	5,000,000	5,000,000	0	糸魚川市
	630,000	630,000	0	上越市
	890,000	890,000	0	大町市
	275,000	275,000	0	白馬村
	94,000	94,000	0	小谷村
	400,000	400,000	0	朝日町
	400,000	800,000	-400,000	新潟県
2. 特別負担金	1,100,000	0	1,100,000	新潟県
3. 補助金	0	0	0	
4. 雑収入	200,000	1,430,974	-1,230,974	総会交流会費、預金利息
5. 繰越金	3,061,355	1,733,026	1,328,329	前年度繰越金
計	12,050,355	11,253,000	797,355	

## 【支出の部】

科 目	H28予算額	H27予算額	比較増減	説 明
1. 事業費	11,284,000	10,103,000	1,181,000	
広告宣伝	1,000	2,377,000	-2,376,000	広域マップ増刷
誘客宣伝	7,170,000	2,983,000	4,187,000	VJ地方連携事業、AGTモニターツアー
イベント関連	0	943,000	-943,000	
二次交通	3,913,000	3,500,000	413,000	駅レンタカー乗捨無料事業、鉄道魅力発信事業
ホームページ管理	200,000	300,000	-100,000	ホームページ管理
2. 連携会議運営費	666,355	1,150,000	-483,645	
会議費	200,000	300,000	-100,000	総会、交流会等
事務委託費	450,000	800,000	-350,000	糸魚川市観光協会委託
事務通信費	16,355	50,000	-33,645	消耗品、事務通信費等
3. 予備費	100,000	0	100,000	
予備費	100,000	0	100,000	
計	12,050,355	11,253,000	797,355	

事業計画、執行状況等に応じて、科目間の流用を行えるものとする。

# 参 考 資 料

構 成 団 体 名 簿

役 員 名 簿

幹事会・専門委員会名簿

連 携 会 議 規 約

連 携 会 議 行 動 計 画

北アルプス日本海広域観光連携会議 構成団体名簿

区 分	団 体 名	備 考
市町村	新潟県糸魚川市	
	新潟県上越市	えちごトキめき鉄道 日本海ひすいライン沿線
	長野県大町市	
	長野県白馬村	
	長野県小谷村	
	富山県朝日町	
国県	新潟県糸魚川地域振興局	
	長野県北安曇地方事務所	
観光団体	糸魚川市観光協会	
	公益社団法人上越観光コンベンション協会	
	大町市観光協会	
	一般社団法人白馬村観光局	
	一般社団法人小谷村観光連盟	
	朝日町観光協会	
商工団体	糸魚川商工会議所	
	能生商工会	
	青海町商工会	
	上越商工会議所	
	大町商工会議所	
	白馬商工会	
	小谷村商工会	
	朝日町商工会	
交通事業者	西日本旅客鉄道株式会社金沢支社	北陸広域鉄道部
	えちごトキめき鉄道株式会社	
	糸魚川バス株式会社	
	頸城自動車株式会社	
	アルピコ交通株式会社	

北アルプス日本海広域観光連携会議 役員名簿

役 職	氏 名
会 長	糸魚川市長 米田 徹
副 会 長	上越市長 村山 秀幸
	大町市長 牛越 徹
	白馬村長 下川 正剛
	小谷村長 松本 久志
	朝日町長 笹原 靖直
監 事	新潟県糸魚川地域振興局長 渡辺 広治
	大町商工会議所会頭 坂中 正男

## 平成28年度 幹事会・専門委員会名簿

区分	団体名	所属	職名	氏名	メールアドレス	電話	FAX	備考
幹事会	糸魚川市	産業部	部長	齋藤 隆一		025-552-1511	025-552-7372	
	上越市	産業観光部観光振興課	課長	五十嵐 裕		025-526-5111	025-526-6113	
	大町市	産業観光部観光課	課長	西澤 美千夫		0261-22-0420	0261-23-4660	
	白馬村	観光課	課長	篠崎 孔一	kanko@vill.hakuba.lg.jp	0261-85-0722	0261-72-7001	
	小谷村	観光振興課	課長	横澤 勲	isao-y@vill.otari.nagano.jp	0261-82-2585	0261-82-2232	
	朝日町	商工観光課	課長	住吉 雅人		0765-83-1100	0765-83-1109	
	新潟県糸魚川地域振興局	企画振興部地域振興課	課長	平野 光樹	hirano.teruki@pref.niigata.lg.jp	025-553-1843	025-552-9944	
	長野県北安曇地方事務所	商工観光建築課	課長	上田 穂積	hokuan-shokanken@pref.nagano.lg.jp	0261-23-6523	0261-23-2934	
	糸魚川市観光協会		事務局長	滝川 一夫	itoigawa-kanko@ae.wakwak.com	025-555-7344	025-555-7364	
	上越観光コンベンション協会		常務理事	片岡 明	itca@joetsu.ne.jp	025-543-2777	025-545-1113	
	大町市観光協会		専務理事	小松 令子	info@kanko-omachi.gr.jp	0261-22-0190	0261-22-5593	
	白馬村観光局		観光局長	北村 興二	kitamura@po.vill.hakuba.nagano.jp	0261-72-7100	0261-72-6311	
	小谷村観光連盟		事務局長	菊原 昭一	s-kiku@vill.otari.nagano.jp	0261-82-2233	0261-82-2242	
	朝日町観光協会		事務局長	平木 利明	asahi@shokoren-toyama.or.jp	0765-83-2280	0765-83-2822	
	糸魚川商工会議所	総務課	総務課長	野本 宏一	k-nomoto@itoigawa-cci.or.jp	025-552-1225	025-552-8860	
	能生商工会		事務局長	加藤 真美子	benten@noumachi-syoukoukai.or.jp	025-566-2244	025-566-4374	
	青海町商工会		事務局長	木下 耕造	omisho@poppy.ocn.ne.jp	025-562-2352	025-562-5201	
	上越商工会議所		専務理事	東條 邦俊	tohjo@joetsu.ne.jp	025-525-1185	025-522-0171	
	大町商工会議所		事務局長	鷲澤 恒夫	occi@deluxe.ocn.ne.jp	0261-22-1890	0261-23-3735	
	白馬商工会		事務局長	篠崎 隆弘	info@hakuba-sci.jp	0261-72-5101	0261-72-6112	
	小谷村商工会		総務主幹	中村 豊	otari@valley.ne.jp	0261-82-2888	0261-82-2889	
	朝日町商工会		事務局長	小林 光義	m-koba@shokoren-toyama.or.jp	0765-83-2280	0765-83-2282	
	専門委員会	西日本旅客鉄道株式会社金沢支社	北陸広域鉄道部	大系線担当部長	平崎 雅郁	masafumi-hirasaki@westjr.co.jp	025-552-0336	025-552-0336
えちごトキめ鉄道株式会社		総務企画部	総務企画部長	渡邊 明彦	info@echigo-tokimeki.co.jp	025-546-5520	025-543-8020	
糸魚川バス株式会社			本社営業所長	白石 博幸	itobus@amber.plala.or.jp	025-552-0180	025-550-1006	
頸城自動車株式会社		観光部	観光部長	鈴木 陽一		025-543-3781	025-544-8338	
アルピコ交通株式会社		白馬営業所	所長	大口 秀英	ooguchi.syuei@alpico.co.jp	0261-72-3155	0261-72-5829	
上越市		産業観光部観光振興課	主任	中村 直子	kanko-shinko@city.joetsu.lg.jp	025-526-5111	025-526-6113	
大町市		産業観光部観光課	係長	遠藤 俊治	t.endo@city.omachi.nagano.jp	0261-22-0420	0261-23-4660	
白馬村		観光課	係長	長澤 肇	kanko@vill.hakuba.lg.jp	0261-85-0722	0261-72-7001	
小谷村		観光振興課	係長	中村 洋隆	nakacha@vill.otari.nagano.jp	0261-82-2585	0261-82-2232	
朝日町		商工観光課	主任	清水 優香	syouko@int.town.asahi.toyama.jp	0765-83-1100	0765-83-1109	
新潟県糸魚川地域振興局		企画振興部地域振興課	地域振興専門員	大林 賢治	obayashi.kenji@pref.niigata.lg.jp	025-553-1843	025-552-9944	
長野県北安曇地方事務所		商工観光建築課	係長	小林 敏	kobayashi-satoshi-r@pref.nagano.lg.jp	0261-23-6523	0261-23-2934	
糸魚川市観光協会			事務局長	滝川 一夫	itoigawa-kanko@ae.wakwak.com	025-555-7344	025-555-7364	
		職員	齋藤 真優子	itoigawa-kanko@ae.wakwak.com	025-555-7344	025-555-7364		
上越観光コンベンション協会		係長	福嶋 大	itca-fd@joetsu.ne.jp	025-543-2777	025-545-1113		
大町市観光協会		専務理事	小松 令子	omachisi@chive.ocn.ne.jp	0261-22-0190	0261-22-5593		
白馬村観光局	営業グループ	営業プロデューサー	伊達 仁彦	date@po.vill.hakuba.nagano.jp	0261-72-7100	0261-72-6311		
白馬商工会		主任経営支援員	師岡 和弘	info@hakuba-sci.jp	0261-72-5101	0261-72-6112		
小谷村観光連盟		事務局長	菊原 昭一	s-kiku@vill.otari.nagano.jp	0261-82-2233	0261-82-2242		
小谷村商工会		総務主幹	中村 豊	otari@valley.ne.jp	0261-82-2888	0261-82-2889		
朝日町観光協会		事務局長	平木 利明	asahi@shokoren-toyama.or.jp	0765-83-2280	0765-83-2282		
事務局	糸魚川市	産業部交流観光課	課長	渡辺 成剛	seigou.watanabe@city.itoigawa.niigata.jp	025-552-1511	025-552-7372	
			係長	小竹 貴志	takashi.otake@city.itoigawa.niigata.jp	025-552-1511	025-552-7372	
			主査	土沢 修栄	syuei.dozawa@city.itoigawa.niigata.jp	025-552-1511	025-552-7372	

## 北アルプス日本海広域観光連携会議規約

### 第1章 総則

(名称)

第1条 本会議は、北アルプス日本海広域観光連携会議（以下「連携会議」という。）と称する。

(目的)

第2条 連携会議は、北陸新幹線系魚川駅を中心とした周辺市町村及び関係団体との広域観光連携を推進するため、北アルプス日本海広域観光連携行動計画（以下「行動計画」という。）に登載する取組の推進、評価及び検証並びに計画の見直しを行うとともに、連携会議構成団体間の連絡調整等を円滑に行うことにより、広域観光連携を総合的かつ計画的に実施することを目的とする。

### 第2章 組織等

(組織)

第3条 連携会議は、別表に掲げる団体をもって組織する。

(役員)

第4条 連携会議に、次の役員を置く。

会 長 1名

副会長 若干名

監 事 2名

2 役員は、総会において決定する。

(役員の職務)

第5条 会長は、連携会議を代表し、会務を総理する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長が欠けたとき、又は会長に事故があるときは、その職務を代行する。

3 監事は、連携会議の会計を監査し、その結果を総会において報告する。

### 第3章 総会

(総会)

第6条 総会は、次の事項を議決する。

行動計画及び規約の制定又は変更に関すること。

事業計画に関すること。

収入支出予算及び決算に関すること。

役員を選任に関すること。

その他会長が必要と認める事項に関すること。

2 総会は、会長が必要に応じて招集し、会長が議長となる。

(専決処分)

第7条 会長は、総会を招集する時間的猶予がないときは、前条第1項各号に掲げる事項について専決することができる。

2 会長は、前項の規定により専決処分したときは、次の総会に報告し、その承認を得なければならない。

#### 第4章 幹事会

(幹事会)

第8条 連携会議の目的を円滑に遂行するため、幹事会を設置する。

2 幹事会は、連携会議の構成団体からの推薦する者により組織する。

3 幹事会は、次に掲げる活動を行う。

連携会議の円滑な運営の補助

行動計画に基づく事業の重点化に関する協議

専門委員会の連絡調整

#### 第5章 専門委員会

(専門委員会)

第9条 連携会議は、専門的な事項を検討し、推進するため、専門委員会(以下「委員会」という。)を設置することができる。

2 委員会は、連携会議の要請により必要に応じて組織する。

3 委員会の委員は、検討する事項により幹事会で協議し、関係する団体からの推薦により決定する。

(委員長等)

第10条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

2 委員長及び副委員長は、委員の互選による。

3 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長が欠けたとき、又は委員長に事故があるときは、その職務を代行する。

(委員会の会議)

第11条 委員長は、委員会を招集し、その会議の座長となる。

2 座長は、必要があると認めるときは、委員会に委員以外の者の出席を求めることができる。

#### 第6章 事務局

(事務局)

第12条 連携会議、幹事会、委員会等の会務を処理するため、事務局を置く。

- 2 事務局に事務局長及び事務局次長を置き、会長が任命する。
- 3 事務局は、構成団体のうち県及び市町村の担当課と糸魚川市観光協会が担任し、事務所は、糸魚川市産業部交流観光課に置く。

## 第7章 会計

### (会計)

第13条 連携会議の経費は、負担金、補助金、寄付金、協賛金その他の収入をもって充てる。

- 2 連携会議の会計は、糸魚川市財務規則に準拠し、糸魚川市財務規則のうち課長専決以下は事務局長の、それ以外は会長の決裁により、事務局長が執行する。
- 3 通帳の管理及び現金の出納については、糸魚川市会計管理者が行うものとする。
- 4 予算の管理は、事務所で行い、監事の監査を受けるものとする。

### (会計年度)

第14条 連携会議の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

## 第8章 解散

### (解散)

第15条 連携会議は、第2条に掲げる目的を達成したときに解散する。

## 第9章 補足

### (補足)

第16条 この規約に定めるもののほか、連携会議の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

### 附 則

- 1 この規約は、平成25年8月5日から施行する。
- 2 平成25年度の会計年度は、第14条の規定にかかわらず、この規約の施行の日から平成26年3月31日までとする。

### 附 則

- 1 この規約は、平成27年5月13日から施行する。

### 附 則

- 1 この規約は、平成27年7月8日から施行する。

## 北アルプス日本海広域観光連携会議 行動計画

北アルプス日本海広域観光連携会議は、北陸新幹線系魚川駅を中心とした周辺市町村及び関係団体との広域観光連携を推進するため、次に掲げる事業に取り組む。

- 1 広域観光連携の推進
  - 周遊型広域観光商品の開発と販売促進活動
  - 祭りやイベントの広域連携
  - 効果測定等の調査
- 2 交通事業者との連携
  - 二次交通の充実と連携
  - イベント列車などの運行
- 3 連携した情報発信
  - ポスターや観光パンフなど広域観光情報の発信
  - 誘客PR、観光物産イベント等への共同参加
- 4 連携した新幹線開業イベントの開催
  - 開業イベントの情報交換
  - 連携したイベントの開催
- 5 新幹線系魚川駅の利便性向上
  - 新幹線系魚川駅の近隣市町村専用の駐車場確保
  - JR大糸線、並行在来線等の利便性の向上
  - アクセス道路の整備促進
- 6 その他新幹線開業の効果を活かすことができると考えられる連携事業